

スタートアップ期間中のお便り 最終号

～東豊台小学校のみなさんへ～

令和2年(2020年)6月12日
豊中市立東豊台小学校
校長 瀧田 益大



スタートアップ期間第2週を終え、いよいよ来週から学校再開。全校児童が集います。

雨ニモマケズ 風ニモマケズ 雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ 丈夫ナカラダヲモチ
欲ハナク ケツシテ怒ラズ イツモシズカニワラツテキル・・・〈中略〉・・・
サウイウモノニ ワタシハナリタイ



上の文は、有名な作家である宮澤賢治の代表作「雨ニモマケズ」の一節です。

今週、近畿地方が梅雨入りしました。さっきまで桜が咲いていたのに季節の移ろは早いです。昨年の梅雨入りは遅い時期であったと記憶していますが、今回は例年並みのようです。

さて、日々の雲の様子に気を配らなければならないと共に、最近、北関東などに地震が多いのも気にかかるところです。加えて、引き続きコロナウイルス感染症予防に細心の注意を払う必要があります。そんな重苦しい空気の中、上の文が不意に頭に浮かんできました。来週から、全校児童登校の学校再開がいよいよ始まります。児童・学校の安全のため、日々、心を張りつめて、教職員で一丸となって、一日一日、最善を尽くしていく所存です。

そこで、昨日の放課後、教職員全員で、令和2年(2020年)6月10日に発出された、「豊中市小・中学校における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」【第2版】を読み合い、共通理解、意見交流する時間をとりました。20分程度を予定しましたが、気がつけば1時間が経っていました。今回のマニュアルでも基本的な感染症対策のポイントとして、冒頭に「感染源を絶つ」、「感染経路を断つ」、「抵抗力を高める」これらの取り組みを、誰もが実施できるようにすることが示されています。その基本的な考え方から始め、主に、手洗い(頻度)、マスクの着用(密接場面の対応)、教室内の換気(密閉の回避)、身体的距離の確保(密集の回避)、などを確認した後、時間をかけ、丁寧に、『各教科等の指導について』と『給食』、『清掃活動』、『休み時間』等について、共通理解を行いました。この会議の冒頭に私が述べたことは、「マニュアルは拠り所であり、来週からも、私たちの感覚を大切に、日々、感染症対策を検証していきましょう。」でした。保護者の皆様には、健康観察カードの継続しての提出や一人一枚のマスクの予備持参等、協力をお願いすることになります。よろしくお願い申し上げます。



突然ですがみなさんにクイズを出します。右の写真は、今、校内で育てている夏野菜の写真5枚を貼り付けています。さて、五種類、全部を答えてみましょう。高学年の人は、直接、畑まで行って観察しているのではないのでしょうか。これからも先生と共に愛情を持って育てていってほしいです。収穫も楽しみ!

クイズ: 夏野菜のクイズ



P. S. 今週も、数人、マスクをわすれて来る児童がいました。きっと、一目散に玄関をとびだすからだろうとおもいます。学校が再開しても原則(特別な場合を除いて)マスクは着用です。

